



## 令和3年度 湘南養護学校 コミュニティ・スクール 報告 その4



コミュニティ・スクールとは・・・ コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、学校と保護者や地域の方々が力を合わせて学校の運営に取り組むことができる仕組みで、湘南養護学校でも、令和2年度より設置しています。また、学校運営協議会を設置した学校のことも、コミュニティ・スクールと呼びます。

今年度、5回目のコミュニティ・スクール(第5回 学校運営協議会)を2月28日(月)に開催を予定していましたが、新型コロナウイルスによるまん延防止等重点措置の発令期間中となり、書面での開催となりました。今回は、今年度のまとめとして保護者の方々にも12月にご協力いただきました「令和3年度 学校評価アンケート」の集計結果及び教職員への同様の質問項目によるアンケート集計結果について報告しました。また、今年度の学校目標についても年間の実施結果としてまとめたものを提示し、書面にてご意見をいただくとともに、ご承認をいただきました。

### 第5回 学校運営協議会 2月28日(月)書面開催 → 3月初旬までのご意見集約まとめ

#### 1 学校評価の関わる保護者・教職員評価結果について(アンケート集約結果)

- ご意見■ ・回答率、保護者71.4%、教職員88%であり、低い。保護者に指導方針等が理解されていないことが考えられるのではないかと。また、教職員については、100%を目指すべきである。
- ・コロナ禍、今までとは違った学校運営が必要となる中、より良い学校づくりの課題が見えてきたように思います。皆様のご意見をもとに、さらなる改善への取組につなげられたら良いと思います。
- ・質問項目の「交流や地域との連携」の評価が分かれています。本協議会での取組や、「切れ目のない支援部会」での活動によって、連携が強化され、連携の内容も周知されていくのではないかと考えます。
- ・保護者からの評価は、この項目も「A」または「B」であり、ほとんどの保護者から高い評価をいただいていると思います。この2年間はコロナ禍ですから自粛せざるを得なかった活動もあったと思いますが、教職員の取組が保護者からの信頼を得ているのだと思います。「C」「D」の評価については、数字をクローズアップせず、「何が原因で不十分なのか？」の分析をする方が良いと思います。教職員の評価は、少し辛めで保護者の評価よりも「C」「D」側に偏る傾向があり、教職員の皆さんの目指す目標が高いものと思われる。

#### 2 令和3年度学校評価(校内評価)について

- ご意見■ ・校内評価の達成状況を見ておりますと、評価はでき、教職員の皆様の努力に感謝いたします。地域との協働の結果として、今後、地域との協働を進めるなら一方通行ではなく地域の意見も求め、取組の検証を進めていくこと

が必要ではないでしょうか。

学校管理・学校運営については、感染症対策について、校内の対応状況を知らせ、地域と情報共有をして協力体制を強化していただきたかった。

- ・現在の取組を継続していただくことで、キーポイントとして挙げられた「専門性」「チーム力」の強化にもつながると思います。
  - ・昨年度実施できなかった行事等が少しでも実施できたことは、良かったと思います。コロナの感染状況を見極めることは、とても難しい事だと実感しています。
  - ・地域との協働については、保護者への周知を今後も積極的に進め、さらに理解を深めてもらえたら良いと思いました。また、児童生徒指導、支援の“人権”については、アンケートの回答で「C」「D」の不十分の回答がゼロになることを目指すべきではないかと考えます。
  - ・湘南ブランドの推進、コミュニケーションツールの活用、具体的な作業種目の設定、地域への情報発信など、コロナ禍でありながらも、できる限りの取組をされたと思います。特に「ひらつか市民プラザ」の作品展は、コロナ禍でも果敢に開催しようという強い姿勢を感じました。また、人権の配慮は、「さん」づけ呼称は、繰り返し習慣になることが必要だと思います。
- 情報発信については、FM 湘南ナパサ「バリア！フリフリ天国」をもっと活用していただければと思います。（現在、番組は事前に進話学園で収録していますので、日程を合わせてゲストに来てもらうか、CD 音源をいただければ告知可）

### 3 学校運営全般について

- ご意見■ ・コロナ対応で職員の皆様の負担が大きくなっている中、より充実した教育内容を目指してご尽力いただき、深く感謝いたします。
- ・学校は、平時の体制を主に整備されているが有事の際の危機設定等、不明な点が多い。市内の教育現場（小・中・高）も同様の傾向にあり、各学校とも指揮・命令系統の混乱を誘発することが懸念される。学校の対応策を地域にも見えるよう再検討し、市内の学校とも議論、学校の基本姿勢を大胆に示していくことが必要ではないでしょうか。
- ・学校全体で階層的に、横断的に創意工夫して取組む姿勢を感じます。引き続き、湘南ブランドの推進をお願いします。また、臨床心理士さん、作業療法士さんの専門職としての学校内外のバックアップに期待します。また、ホームページ、会報の発信、毎年開催の作品展の推進にも期待しています。コロナが収束して、いろいろな活動が早くできることを祈っています。
- ・コロナ禍の学校運営で、先生型のご努力に、非常に感謝しています。学校での感染者も少なく、都度、メールで報告していただき心強く思っています。コロナ禍で保護者と先生方の連絡（コミュニケーション）が以前とは同じようにはいかないと思いますが、なるべく良好に保てるよう対応をお願いしたい。

◆紙面の都合上、全てのご意見の掲載ではありません。ご了承ください。

別紙「令和3年度学校評価報告書実施結果」の学校関係者評価欄に反映させていただきました。

問合せ先

副校長 大谷

電話 0463-34-7244